

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成29年10月12日

**【四半期会計期間】** 第94期第2四半期(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)

**【会社名】** 株式会社歌舞伎座

**【英訳名】** KABUKI-ZA CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 大谷信義

**【本店の所在の場所】** 東京都中央区銀座四丁目12番15号

**【電話番号】** 直通03(3541)5572

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 高橋克彦

**【最寄りの連絡場所】** 東京都中央区銀座四丁目12番15号

**【電話番号】** 直通03(3541)5572

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 高橋克彦

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第93期 第2四半期 連結累計期間	第94期 第2四半期 連結累計期間	第93期
会計期間		自 平成28年 3月 1日 至 平成28年 8月31日	自 平成29年 3月 1日 至 平成29年 8月31日	自 平成28年 3月 1日 至 平成29年 2月28日
売上高	(千円)	2,021,971	2,010,649	4,109,245
経常利益	(千円)	261,244	286,942	522,880
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	172,819	200,185	345,619
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	632,921	1,090,130	1,449,560
純資産額	(千円)	10,488,006	12,326,445	11,301,517
総資産額	(千円)	26,828,333	28,533,361	27,436,348
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	14.28	16.54	28.55
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	39.1	43.2	41.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	444,215	451,270	709,685
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	2,111	1,818	24,093
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	378,975	375,175	693,388
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,052,857	1,051,986	977,708

回次		第93期 第2四半期 連結会計期間	第94期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成28年 6月 1日 至 平成28年 8月31日	自 平成29年 6月 1日 至 平成29年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	6.06	7.81

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。  
また、関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあって、国内景気は総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループにおきましては、このような情勢のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,010,649千円(前年同期比0.6%減)、営業利益は263,473千円(前年同期比9.2%増)、経常利益は286,942千円(前年同期比9.8%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は200,185千円(前年同期比15.8%増)となりました。

これをセグメント別にみると、不動産賃貸事業については、売上高は956,427千円(前年同期比0.6%増)となり、セグメント利益は418,383千円(前年同期比1.0%増)となりました。

食堂・飲食事業については、前連結会計年度にケータリング事業を縮小したことにより、売上高は370,667千円(前年同期比7.6%減)となったものの、製造部門集約の効果によりセグメント利益は22,119千円(前年同期はセグメント損失8,625千円)となりました。

売店事業については、売上高は683,554千円(前年同期比2.0%増)となったものの、セグメント利益は人件費等経費増により70,570千円(前年同期比7.0%減)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,097,013千円増加し、28,533,361千円となりました。

##### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ70,127千円増加し、1,159,474千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,026,885千円増加し、27,373,887千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価による増加、有形固定資産の減価償却による減少であります。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ222,526千円減少し、1,211,447千円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ294,612千円増加し、14,995,469千円となりました。主な要因は、流動負債に振替えたことによる長期前受金の減少、繰延税金負債の増加であります。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,024,927千円増加し、12,326,445千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加であります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」と言う)は、前連結会計年度末に比べ74,277千円増加し、1,051,986千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は、451,270千円(前年同期は444,215千円の収入)となりました。これは主に、資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益、減価償却費、資金の減少要因として長期前受金の減少、法人税等の支払額であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、1,818千円(前年同期は2,111千円の収入)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は、375,175千円(前年同期は378,975千円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出、提出会社の配当金の支払額であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成29年10月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,170,000	12,170,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,170,000	12,170,000		

(注) 平成29年4月19日開催の取締役会決議により、1単元の株式数を1,000株から100株に変更しております。  
なお、実施日は平成29年9月1日であります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年6月1日～ 平成29年8月31日	-	12,170,000	-	2,365,180	-	2,405,394

(6) 【大株主の状況】

平成29年 8月31日現在			
氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
松竹株式会社	東京都中央区築地 4 - 1 - 1	1,665	13.68
清水建設株式会社	東京都中央区京橋 2 - 16 - 1	1,017	8.35
みずほ信託銀行株式会社 退職給 付信託 松竹口 再信託受託者 資産管理サービス 信託銀行株式会社	東京都中央区晴海 1 - 8 - 12 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟	446	3.66
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (退職給付信託 松竹口)	東京都港区浜松町 2 - 11 - 3	446	3.66
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町 1 - 5 - 5	230	1.88
株式会社TBSテレビ	東京都港区赤坂 5 - 3 - 6	150	1.23
株式会社フジ・メディア・ホール ディングス	東京都港区台場 2 - 4 - 8	150	1.23
日本テレビ放送網株式会社	東京都港区東新橋 1 - 6 - 1	150	1.23
株式会社三越伊勢丹	東京都新宿区新宿 3 - 14 - 1	115	0.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内 2 - 7 - 1	115	0.94
計		4,484	36.85

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年 8月31日現在			
区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 66,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,527,000	11,527	
単元未満株式	普通株式 577,000		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	12,170,000		
総株主の議決権		11,527	

(注) 1 単元未満株式には、当社所有の自己保有株式877株が含まれております。

(注) 2 平成29年4月19日開催の取締役会決議により、1単元の株式数を1,000株から100株に変更しております。  
なお、実施日は平成29年9月1日であります。

【自己株式等】

平成29年 8月31日現在					
所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社歌舞伎座	東京都中央区銀座 4 - 12 - 15	66,000	-	66,000	0.54
計		66,000	-	66,000	0.54

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の変動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年6月1日から平成29年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新創監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	977,708	1,051,986
受取手形及び売掛金	23,135	21,598
たな卸資産	33,472	32,724
繰延税金資産	16,071	15,104
その他	39,224	38,306
貸倒引当金	266	246
<b>流動資産合計</b>	<b>1,089,346</b>	<b>1,159,474</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	10,242,271	10,014,481
土地	6,238,098	6,238,098
その他（純額）	225,975	207,804
<b>有形固定資産合計</b>	<b>16,706,344</b>	<b>16,460,384</b>
<b>無形固定資産</b>		
借地権	2,613,299	2,613,299
商標権	226	196
施設利用権	11,908	11,363
ソフトウェア	5,143	3,712
<b>無形固定資産合計</b>	<b>2,630,577</b>	<b>2,628,572</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	6,426,080	7,710,033
長期前払費用	495,281	486,181
その他	91,411	91,411
貸倒引当金	2,694	2,694
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>7,010,079</b>	<b>8,284,931</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>26,347,002</b>	<b>27,373,887</b>
<b>資産合計</b>	<b>27,436,348</b>	<b>28,533,361</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	203,115	210,929
1年内返済予定の長期借入金	626,000	317,500
未払金	78,906	134,414
未払法人税等	53,927	45,192
前受金	399,009	415,205
賞与引当金	22,854	24,216
その他	50,160	63,989
流動負債合計	1,433,973	1,211,447
固定負債		
長期未払金	115,770	115,770
長期前受金	13,200,018	13,053,614
繰延税金負債	1,249,236	1,692,070
退職給付に係る負債	54,818	59,992
長期預り保証金	75,774	71,200
その他	5,238	2,820
固定負債合計	14,700,857	14,995,469
負債合計	16,134,830	16,206,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,180	2,365,180
資本剰余金	3,256,671	3,256,671
利益剰余金	3,638,338	3,778,003
自己株式	291,630	296,314
株主資本合計	8,968,559	9,103,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,332,958	3,222,904
その他の包括利益累計額合計	2,332,958	3,222,904
純資産合計	11,301,517	12,326,445
負債純資産合計	27,436,348	28,533,361

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	2,021,971	2,010,649
売上原価	1,512,667	1,468,463
売上総利益	509,303	542,185
販売費及び一般管理費		
人件費	162,954	169,691
賞与引当金繰入額	12,021	13,217
退職給付費用	5,959	3,471
租税公課	9,963	15,367
減価償却費	3,304	3,367
その他	73,863	73,595
販売費及び一般管理費合計	268,066	278,711
営業利益	241,237	263,473
営業外収益		
受取利息	30	18
受取配当金	21,469	21,622
その他	6,279	7,001
営業外収益合計	27,779	28,641
営業外費用		
支払利息	7,162	3,353
その他	609	1,819
営業外費用合計	7,772	5,172
経常利益	261,244	286,942
特別損失		
事業再編損	16,075	-
特別損失合計	16,075	-
税金等調整前四半期純利益	245,168	286,942
法人税、住民税及び事業税	28,875	36,962
法人税等調整額	43,473	49,794
法人税等合計	72,349	86,757
四半期純利益	172,819	200,185
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,819	200,185

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	172,819	200,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	460,101	889,945
その他の包括利益合計	460,101	889,945
四半期包括利益	632,921	1,090,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	632,921	1,090,130

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	245,168	286,942
減価償却費	247,122	248,291
貸倒引当金の増減額(は減少)	54	20
賞与引当金の増減額(は減少)	3,438	1,362
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	6,542	5,174
受取利息及び受取配当金	21,499	21,640
支払利息	7,162	3,353
事業再編損	16,075	-
売上債権の増減額(は増加)	4,310	1,536
たな卸資産の増減額(は増加)	1,423	748
仕入債務の増減額(は減少)	19,906	7,813
長期前受金の増減額(は減少)	146,404	146,404
長期預り保証金の増減額(は減少)	229	4,573
未払消費税等の増減額(は減少)	1,902	3,857
その他	91,998	94,184
小計	453,556	480,625
利息及び配当金の受取額	21,499	21,640
利息の支払額	7,155	3,334
事業再編による支出	3,160	-
法人税等の支払額	20,524	47,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	444,215	451,270
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	3,829	2,818
保険積立金の払戻による収入	5,940	-
その他	-	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,111	1,818
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	308,500	308,500
自己株式の取得による支出	8,622	4,683
リース債務の返済による支出	2,417	2,417
配当金の支払額	59,513	59,614
その他	78	40
財務活動によるキャッシュ・フロー	378,975	375,175
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	67,351	74,277
現金及び現金同等物の期首残高	985,506	977,708
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,052,857	1,051,986

【注記事項】

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
商品及び製品	26,938千円	26,002千円
原材料及び貯蔵品	6,533千円	6,721千円

(四半期連結損益計算書関係)

事業再編損

前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

連結子会社である歌舞伎座サービス㈱の食堂・飲食事業における、ケータリング事業縮小及び製造部門集約に伴う事業所統合に係る費用であり、その内訳は功労金、有形固定資産の移設費及び除却費等であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
現金及び預金	1,052,857千円	1,051,986千円
現金及び現金同等物	1,052,857千円	1,051,986千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月26日 定時株主総会	普通株式	60,531	5	平成28年2月29日	平成28年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月25日 定時株主総会	普通株式	60,519	5	平成29年2月28日	平成29年5月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	950,651	401,215	670,104	2,021,971	-	2,021,971
セグメント間の内部売上高 又は振替高	87,081	675	147	87,905	87,905	-
計	1,037,733	401,891	670,252	2,109,876	87,905	2,021,971
セグメント利益又は損失( )	414,049	8,625	75,869	481,293	240,056	241,237

(注)1 セグメント利益又は損失( )の調整額 240,056千円は、セグメント間取引消去 10,967千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 229,089千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	956,427	370,667	683,554	2,010,649	-	2,010,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,312	432	274	90,019	90,019	-
計	1,045,740	371,100	683,829	2,100,669	90,019	2,010,649
セグメント利益	418,383	22,119	70,570	511,073	247,599	263,473

(注)1 セグメント利益の調整額 247,599千円は、セグメント間取引消去 9,279千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 238,319千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及びその算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	14円28銭	16円54銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	172,819	200,185
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	172,819	200,185
普通株式の期中平均株式数(株)	12,105,462	12,103,754

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年10月10日

株式会社歌舞伎座  
取締役会 御中

### 新創監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 高橋 克典 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 篠原 一馬 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社歌舞伎座の平成29年3月1日から平成30年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成29年6月1日から平成29年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社歌舞伎座及び連結子会社の平成29年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。